

日本共産党の県議会議員候補の佐藤まさゆきでございます。

県議選も最終盤となってまいりました。私は今度の選挙戦、「暮らしに希望を」そのことを掲げて「消費税の10%増税は中止をさせよう。憲法9条も守り抜こう」と訴えてまいりました。

秋から消費税が増税をされます。多くの方から不安の声が寄せられています。政府は「いま日本の景気は悪くなりつつある」と自ら認めざる負えなくなりました。地元新聞の社説でも「景気後退の可能性が出ているのではないか」と書きました。こんな時に消費税を増税したら、暮らしも立ち行かない。日本の景気も悪くなるだけではないでしょうか。本来なら増税は中止をする。その決断をするのが政治の責任ですが、安倍総理にはそのつもりが全くないのであります。そうであるなら、私たち主権者の一票で「増税は止めてほしい。国民の意見は聞かずに、ウソと隠ぺいの安倍政権はもう退場してほしい」この結果を出す選挙にしようではございませんか。私たちには政治を変えるチャンスが目の前に広がっています。投票所に足を運んで「消費税増税止めてほしい。安倍政権サヨウナラ」その願いを託す選挙にしようではございませんか。佐藤まさゆきががんばります。よろしく願いいたします。

日本共産党は、消費税を増税しなくてもやっていける別の道をしっかりと示しています。増税すると言うなら、税金を納める力のある所から納めてもらおうじゃありませんか。アベノミクスで大企業大もうけをしています。カルロスゴーンさんのような富裕層。こういうところから税金を納めてもらえば、消費税の2%増税分は出て来ます。加えて、増え続けている軍事費も削る。このことをやったら、消費税の増税をしなくても社会保障も充実できる。財政の再建もできる。これが私たちの提案です。

12月県議会では、「増税中止」を議会としての意見書を出してほしいと請願出されて、賛成したのはわたくし佐藤まさゆきだけでした。この金沢市選挙区には、国政の野党では、立憲民主も国民民主党も候補者を出しておりませんから、どうぞみなさんこんどの県議選挙では、日本共産党の佐藤まさゆきを大きく伸ばして頂いて、ここ金沢から「消費税中止せよ」の声を大きくして行こうではございませんか。みなさんの大きなご支援をよろしく願いします。

県政では唯一の野党として、税金の使い方を県民目線でチェックをする役割を果たして参りました。いまの県政は、大型開発には熱心、暮らし応援はあとまわしになっています。白山にトンネルを掘って新しい道路をつくるこんな計画まで進んでいます。この時に県議会は自民党と公明党が8割の議席を占めて、何でも賛成オール与党の県議会です。私は、大型開発を全国水準並みに下げる、これをやるだけで年間100億円の財源が生まれることを明らかにしてまいりました。この財源があれば、もっと暮らしに希望を届けることができます。

その第一は、子どもの医療費の窓口無料化を、高校卒業まで完全無料にするためにがんばります。小学校中学校の学校給食の無償化の財源もでて来ます。子育て支援の1票を、「佐藤まさゆき」へとお寄せいただきますようによろしく願いいたします。

もう一つ、暮らしの希望。国民健康保険料の引下げです。金沢市では保険料が高すぎて、払えない人たちが何と1万世帯もおられます。民医連で働く職員の方でもいつも感じているとおり、保険料が払えず病院にかかれなくなって重症化する。あるいは命を落とす。こんな事態が後を絶ちません。にもかかわらず、安倍政権は、保険料を下げるどころか上げようとする計画を今すすめています。私は、新しい議会で、こんな保険料の値上げを中止させるために頑張ると同時に、保険料を抜本的に下げるために全力を尽くしたいと思います。

この国保料は、子どもさんが増えると年間3万円もあがってしまうような仕組みがあります。さすがに全国の知事会もこういう負担を下げしてほしいと、国が責任を持って1兆円ぐらいはお金を出してほしいと要望しました。この要望が実現したらどんなことになるでしょう。年金世帯の方は、

年16万円保険料を払っていますが、半分の8万円まで下げることが可能になります。子どもさん2人持つ4人家族では、41万円も保険料払っていますが25万円にまで下げることが可能であります。この知事会の要望、実現させようではありませんか。そのためにも三度県議会に押し上げて下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

そして公共事業は、大型でなくて地域密着型にして地元の中小零細企業の方々にも仕事が回るような、そんな税金の使い方をするように、わたくしも全力で頑張ります。

日本共産党の議員として、「住民の苦難軽減」この立党の精神を発揮しようと2期8年間がんばってまいりました。1議席ですけどみなさんの運動と結んで、大きな仕事をいくつかやりとげることができました。一つは、子どもの医療費の窓口無料化です。知事は、頑として「窓口無料化などいらない」と言い続けていましたが、世論に押され5年前にこの姿勢を変えさせて、金沢市を含めて県内9割の自治体で窓口無料化が一気に広がりました。もう一つは、県立高校の冷房の設置です。こんどの予算には来年の夏までに普通教室235の教室すべてに冷房がつく、そんな予算を組ませることができました。

切実な願いは、諦めずに声を上げ続けていれば必ず実現できる。わたくしの確信となりました。みなさんの切実な願い、「消費税中止をしてほしい」「国保料下げてほしい」「くらしを良くしてほしい」その願いを実現するチャンスが目の前に広がっています。投票所に足を運んで「佐藤まさゆき」と書いて投票してください。「佐藤まさゆき」と書いて下さる方を広げて下さい。この激戦を勝ち抜かせて頂きますように心からお願いいたします。